



ブルーサルビア(あわじ花さじき)

わたしたちのまちの 景況レポート No. 23

2020 年 7～9 月期実績・2020 年 10～12 月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2020 年 7 ～ 9 月期実績・2020 年 10 ～ 12 月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 679 社

製造業	154 社	卸売業	101 社	小売業	117 社
サービス業	117 社	建設業	141 社	不動産業	49 社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合－「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」－「悪い」	良い＞悪い	良い＜悪い
売上額	前期（四半期）と比較した売上「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
収益	前期（四半期）と比較した収益「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」－「不足」	過剰＞不足	過剰＜不足
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り「楽」－「苦」	楽＞苦	楽＜苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部
 担当：^{かしわぎ}柏木、^{みのだ}簗田、^{みくら}三倉
 TEL：0799-22-1020

業種別地区別天気図

地区 業種	全事業地区 (679先)			淡路地区 (390先)			神明地区 (289先)		
時期	2020年 4～6月 (前期)	2020年 7～9月 (今期)	2020年 10～12月 (見通し)	2020年 4～6月 (前期)	2020年 7～9月 (今期)	2020年 10～12月 (見通し)	2020年 4～6月 (前期)	2020年 7～9月 (今期)	2020年 10～12月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

前期 今期 来期

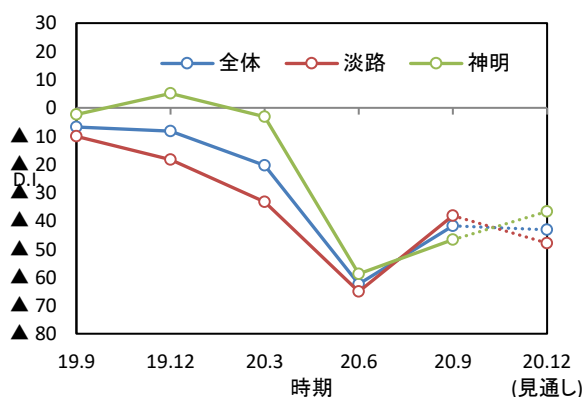
今期(2020年7～9月期)の業況は▲41.8となり、前期(2020年4～6月期)に比べ20.6%改善された。

前期は、コロナの緊急事態宣言が解除されて間もなくのタイミングでの調査で、2015年3月期に調査を開始して以降最悪の結果であったが、今期は幾分改善された。前期は特に神明地区の落込みが大きかったが、今期の回復幅は逆に淡路地区の方が大きく、その結果、初めて淡路地区が神明地区を上回った。

項目別には、売上高は減少、販売価格が下がり仕入価格が上昇、収益が減少したとの厳しい回答が多かった。なお、資金繰りについては、前期より苦しいと回答した割合は21.8%減少した。コロナ禍にあって、未だ先行きが見えない中、各企業とも手元資金を厚くしている様子が窺える。

来期(2020年10～12月期)の見通しは低水準ではあるもののほぼ横ばいで、ひとまず底を打った状況となっている。

業況判断D.I.の推移(地区別)



	20年6月 (前期)	20年9月 (今期)	20年12月 (見通し)
業況	-62.4	-41.8	-43.2
売上額(前期比)	-60.9	-13.1	-24.3
収益(前期比)	-61.1	-15.9	-24.0
販売価格(前期比)	-15.7	-1.9	-6.5
仕入価格(前期比)	3.2	12.1	5.9
人手過不足(過剰-不足)	-7.7	-17.8	-16.2
資金繰り(楽-苦)	-25.6	-3.8	-7.5
設備投資実施企業割合(%)	19.4	22.4	18.0

製造業

前期

今期

来期

今期の業況は、前回調査時の見通しでは、さらに悪化するとの予想であったが、前期比 7 割の改善となった。来期も 3.9 割の改善と、ほぼ横ばいの見通しで、依然として厳しい状況が続く。

売上額、収益ともにマイナス数値は幾分縮小するものの今後も減少が続く予想。前期初めて過剰となった人手が、再び不足となった。

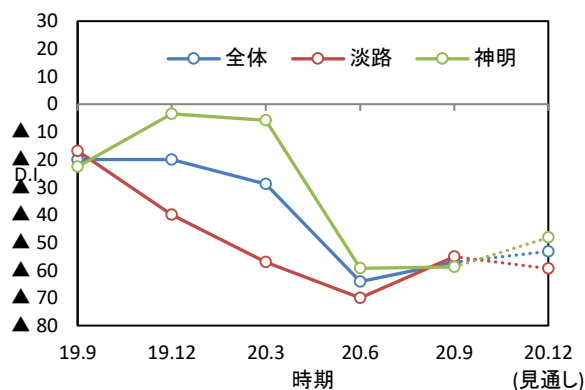
コロナ禍にあって、売上回復のために積極的にオンライン商談会への参加を目指す企業が複数見受けられた。

お客様の声

コロナの影響はリーマンショックを上回り、景況感悪化は必至の状況。業況回復には長期間を要するとみておりコロナ融資を利用して月商の6か月分程度の手元資金を確保している。(淡路)

製品検査時に密にならないよう人数を抑えている。東京にも営業所があり、以前からテレビ会議が可能であった。今回、接触機会を減らすため、取引先ともテレワークでつながるようにした。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年6月 (前期)	20年9月 (今期)	20年12月 (見通し)
業況	-64.1	-57.1	-53.2
売上額(前期比)	-56.4	-31.2	-32.5
収益(前期比)	-60.3	-35.7	-36.4
販売価格(前期比)	-9.0	-5.2	-5.2
仕入価格(前期比)	9.6	6.5	4.5
人手過不足(過剰-不足)	1.9	-7.8	-6.5
資金繰り(楽-苦)	-28.2	-16.2	-16.2
設備投資実施企業割合(%)	20.1	24.8	18.7

卸売業

前期

今期

来期

今期の業況は、前期の▲72.0 から 28.4 割改善したものの▲43.6 と、依然として厳しい。さらに来期の見通しは▲61.4 割と、再び悪化が予想されており判断を許さない状況にある。

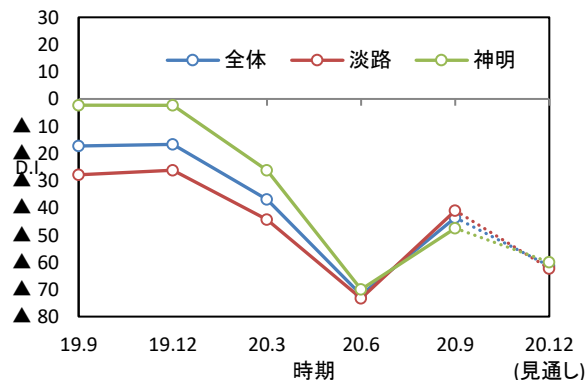
なお、資金繰りはプラス 3.0 となり、資金繰りが楽という企業が苦しいという企業を僅かながら上回った。

お客様の声

コロナの感染拡大当初は、外国人観光客の減少や外食産業の不振により青果物価格が下落し、大幅な売上減少となった。その後他産地が出荷を中止したことで品薄となり市場価格が高騰し売上が回復した。(淡路)

4～6月に停滞していた受注が7月以降復活し、売上はやや増加したものの昨年の水準にまでは至らない。今後は取扱商材の拡充や小売事業の展開等により新たな顧客や販売ルートを開拓していく方針。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年6月 (前期)	20年9月 (今期)	20年12月 (見通し)
業況	-72.0	-43.6	-61.4
売上額(前期比)	-66.0	-9.9	-40.6
収益(前期比)	-66.0	-10.9	-35.6
販売価格(前期比)	-16.0	6.9	-13.9
仕入価格(前期比)	-8.0	15.8	0.0
人手過不足(過剰-不足)	-3.0	-10.9	-3.0
資金繰り(楽-苦)	-16.0	3.0	-5.0
設備投資実施企業割合(%)	16.0	16.2	12.0

小売業



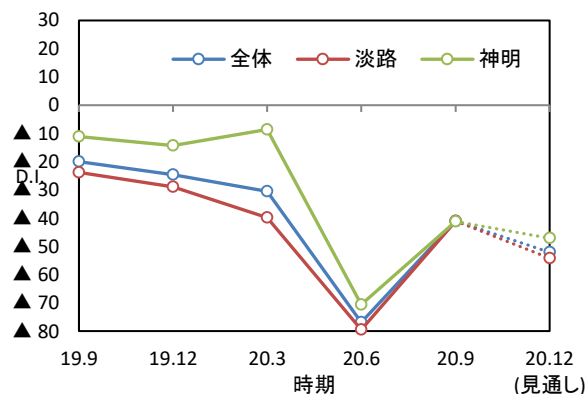
小売業は企業によって扱う品目が多様で、業況へのコロナの影響をひとくくりに判断できないが、今期も依然として▲41.0 と、厳しい数値であった。来期の業況も▲52.1 とさらなる悪化を見込んでいる。売上額、収益ともに前期は過去最低の D. I. であったが、今期の D. I. も数値は小さくなったものの依然としてマイナスで、前期比減少と答えた企業の方が多く状態が続く。人手不足感はやや強まり、資金繰りについては苦しいと回答した割合が大きく減少した。

お客様の声

高齢化や店舗の老朽化等による廃業で同業者が減少し、当社の存在感が増している。コロナ禍にあっても住民の生活維持のため感染防止対策を行い、事業を継続した。
(淡路)

当社は業種柄、自宅でも営業活動への対応が可能のため在宅勤務を実施した。タブレット等も導入し、設備面での充実も図っている。
(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年6月 (前期)	20年9月 (今期)	20年12月 (見通し)
業況	-76.9	-41.0	-52.1
売上額(前期比)	-73.5	-1.7	-27.4
収益(前期比)	-70.1	-6.8	-28.2
販売価格(前期比)	-25.6	2.6	-0.9
仕入価格(前期比)	-9.4	11.1	9.4
人手過不足(過剰-不足)	6.9	-17.1	-16.2
資金繰り(楽-苦)	-41.9	-1.7	-12.0
設備投資実施企業割合(%)	11.4	16.2	9.5

サービス業



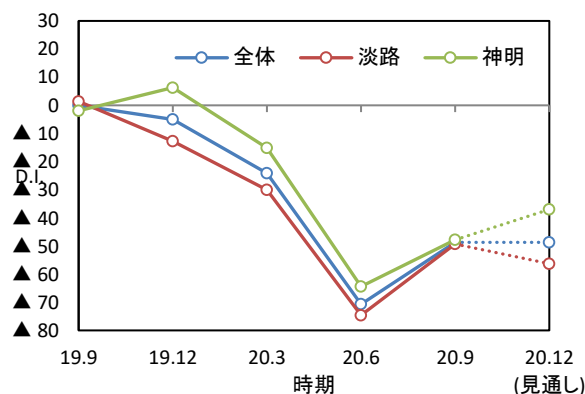
前期は、調査開始以来最も厳しい業況となったが、今期は幾分改善された。それでも悪いとの回答の方が 48.7%多い状況。売上額、収益ともに前期の▲76.1 に比してなおマイナスとなっている。来期についても悪化の見通しが多い。飲食業は、国や地域のキャンペーンで幾分持ち直したが、座席数を間引くなどコロナの感染防止に緊張感を持って対応しており、売上回復までには期間を要する模様。

お客様の声

売上減少に対して業務の見直しを模索していたところへコロナに追い打ちをかけられた。現状の営業内容を維持継続するためには人員の削減は難しく、営業内容の見直しや外部団体との連携など抜本的な改革が必要となっている。
(淡路)

コロナの影響で法人向け配送量は減少傾向にあるが、在宅時間の増加により個人向け配送による収入は増加している。
(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年6月 (前期)	20年9月 (今期)	20年12月 (見通し)
業況	-70.7	-48.7	-48.7
売上額(前期比)	-76.1	-2.6	-27.4
収益(前期比)	-76.1	-3.4	-24.8
販売価格(前期比)	-16.2	-5.1	-4.3
仕入価格(前期比)	0.9	11.1	1.7
人手過不足(過剰-不足)	-6.0	-21.4	-18.8
資金繰り(楽-苦)	-41.0	-8.5	-10.3
設備投資実施企業割合(%)	22.8	26.1	22.3

建設業



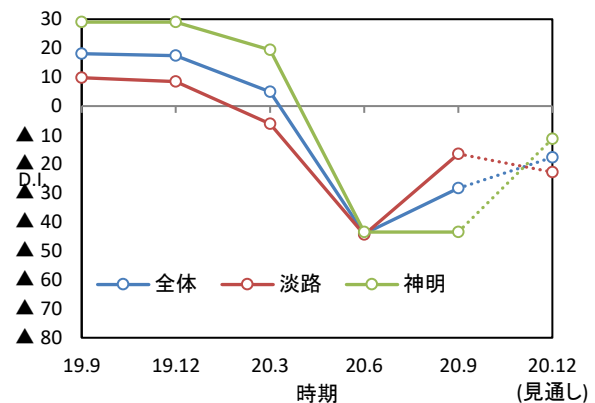
前期マイナスに転じた業況は15.7㊦改善するも依然として▲28.4の状況となっている。来期もマイナスが続く見通しではあるが、他の業種に比べ悪化の度合いは小さい。コロナの影響以上に人手不足、外注先の確保に危機感を持つとの回答が目立った。建築資材の不足感は薄れてきたが価格が上昇傾向にある。資金繰りに余裕を持つ先が増加し、プラスに転じた。

お客様の声

コロナの影響で売上は一時的に減少しているものの徐々に回復する見込み。かねてより人手、特に技術を持った人材が不足しており、現在の雇用を維持しつつ新たな人材確保に向けて様々な手を打っているとこ
(淡路)

新型コロナウイルスの影響で、民間工事が減り、公共工事に入札する企業が増加しているため受注を獲得するのが厳しくなっている。
(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年6月 (前期)	20年6月 (今期)	20年12月 (見通し)
業況	-44.1	-28.4	-17.7
売上額(前期比)	-48.3	-17.0	-9.9
収益(前期比)	-49.7	-19.1	-8.5
販売価格(前期比)	-17.5	-5.7	-10.6
仕入価格(前期比)	18.2	19.1	12.8
人手過不足(過剰-不足)	-25.9	-34.8	-37.1
資金繰り(楽-苦)	-10.5	4.3	2.1
設備投資実施企業割合(%)	24.6	26.4	25.0

不動産業



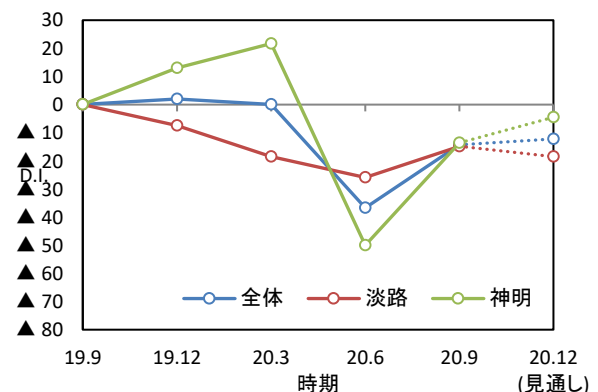
今期の業況は、前期から22.4㊦改善し▲14.3まで回復した。販売価格、仕入価格ともに大きな変動はなく売上額、収益もほぼ横ばいで推移している。コロナ禍により、依然として消費マインドの高まりは弱い、淡路島が注目されてきていること、神明では商品土地が値上がり傾向にあることなどから次第に活気が戻り始めている。来期の見通しもわずかながら改善見込み。

お客様の声

島外からの移住や別荘等の購入希望が多く、コロナの影響は余りない。今後も情報収集を行い、売上を維持していく方針。
(淡路)

事業用地の仕入価格は引続き高値で推移の為、採算の合う仕入れが行えず在庫は不足気味。コロナ禍により住宅購入希望者の動きは鈍化傾向にある。
(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)

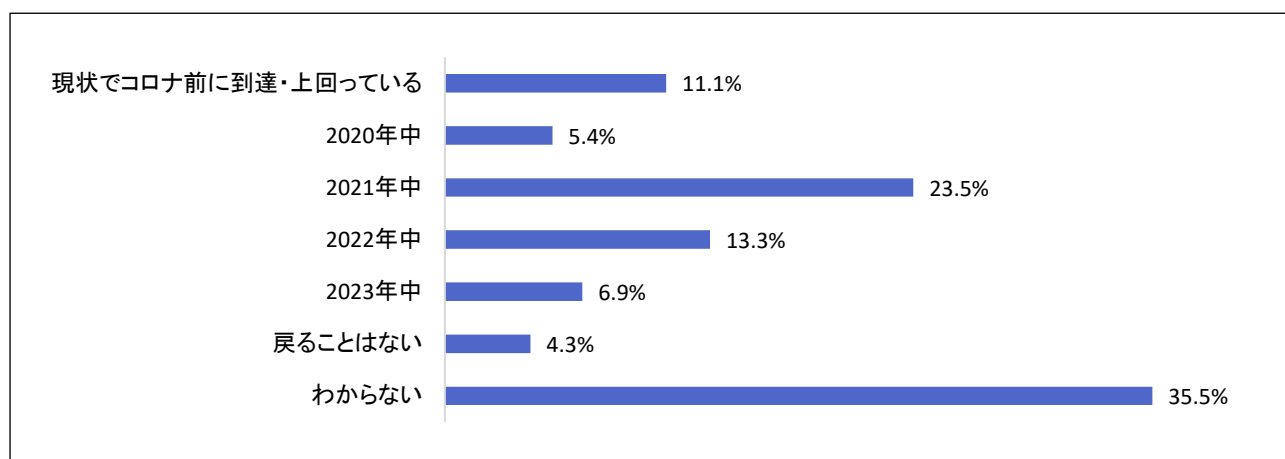


(D.I.)

	20年6月 (前期)	20年9月 (今期)	20年12月 (見通し)
業況	-36.7	-14.3	-12.2
売上額(前期比)	-34.7	-4.1	8.2
収益(前期比)	-30.6	-6.1	6.1
販売価格(前期比)	-6.1	-2.1	-2.1
仕入価格(前期比)	-2.1	6.3	4.2
人手過不足(過剰-不足)	0.0	-8.2	-8.2
資金繰り(楽-苦)	-4.2	4.1	4.1

問1 新型コロナウイルスからの売上の回復時期をいつごろと見込んでいますか。

売上高がコロナ前の水準にまで回復する時期をいつごろと見込んでいるかの問いかけに、「わからない」との回答が最も多く、先行きの不透明感とそれに伴う不安を感じる回答者の多さが窺える。次に多かったのが2021年中で、2022年中、2023年中と続き、多数が長期化を予想している。その一方で、すでにコロナ前に到達・上回っているとの回答が11.1%存在する。



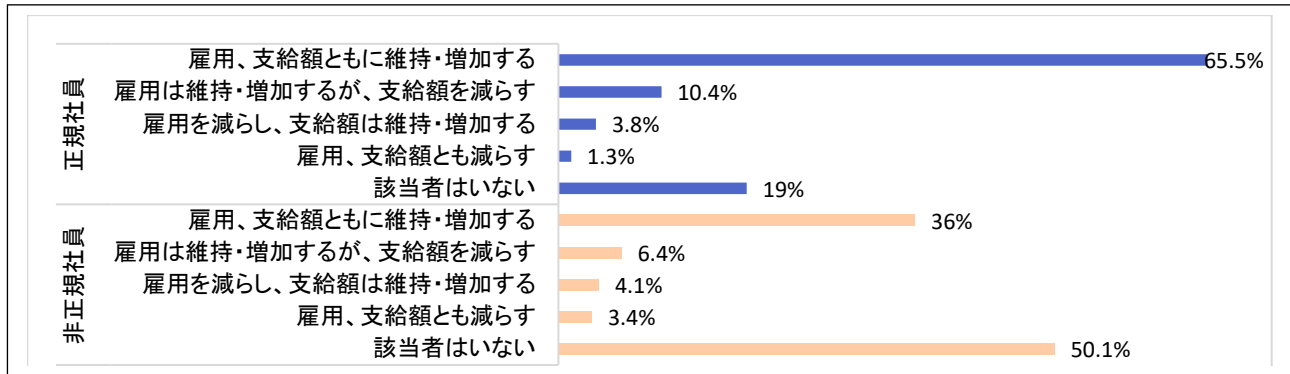
問2 出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む。）していますか。

テレワークや在宅勤務、リモートワークといった、出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む。）していますかという質問と、その理由について尋ねた。出社を必要としない形態を実施した企業が13.4%あった。実施していないと答えた86.6%の企業のうちの9割弱が「実施できる業務ではない」との回答であった。在宅勤務の実施には、業種や業態、規模などが関係してくる。調査結果からは、実施することの難しさが窺える。



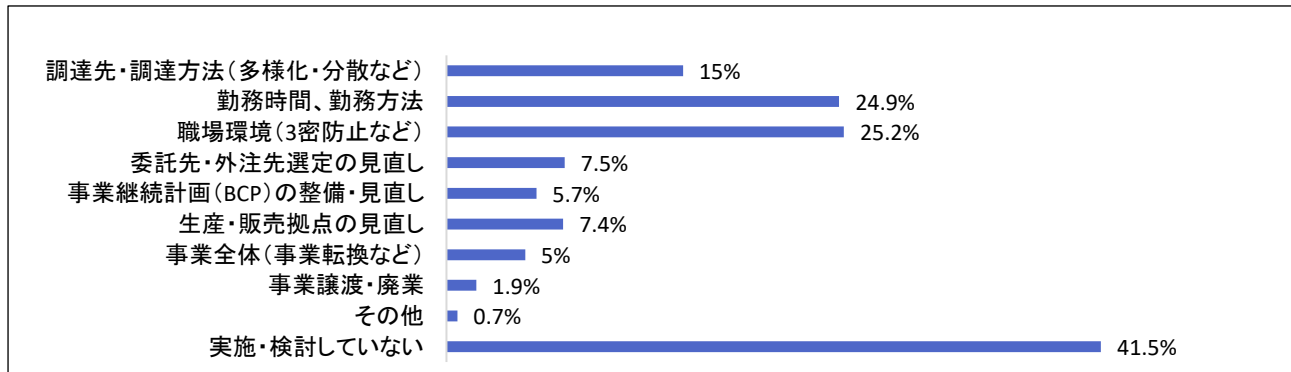
問3 今現在、雇用ならびに1人当たり支給額に関する方針について、どのようにお考えですか。

雇用に関する質問を、正規社員と非正規社員に分けて回答を求めた。正規社員については、65.5%が「雇用、支給額ともに維持・増加する」との回答であった。非正規社員についても「該当者はいない」という回答は別に於いて、こちらも「雇用、支給額ともに維持・増加する」との回答が突出した。コロナ禍で売上の増加や利益の確保が厳しい中、それでも従業員の雇用と給与の維持に努力をしている状況が結果に出ている。



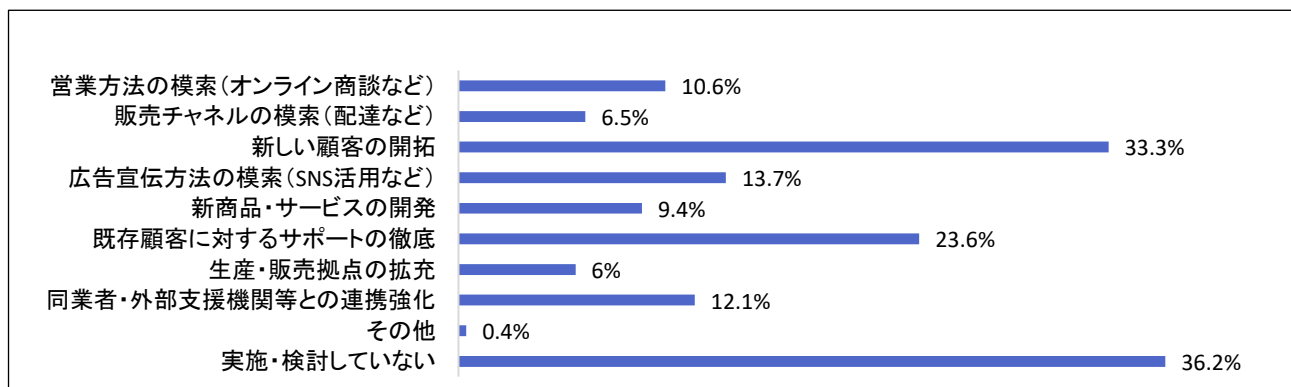
問4 今現在、今後の事業の見直しについて、実施・検討していることはありますか。

今後の事業の見直しについては、41.5%が実施・検討していないとの回答であった。実施している内容としては、「3密防止などの職場環境」の見直しと「勤務時間・勤務方法」が目立った。厳しい環境のなか、従業員の感染防止への配慮が窺える。



問5 今現在、営業拡大の観点で実施・検討していることはありますか。

実施・検討している中で最も多かったのが「新しい顧客の開拓」という攻めの取組みで、33.3%が回答した。次に多かったのが「既存顧客に対するサポートの徹底」という守りの経営で、23.6%あった。それに「広告宣伝方法の模索(SNS活用など)」13.7%、「営業方法の模索(オンライン商談など)」10.6%が続いた。



わたしたちのマチの元気企業 ⑪



星の果実園
hoshinokajitsuuen.jp



《世界大会で最優秀に輝いた淡路島なんとオレンジを使ったマーマレードを作るスイーツ店》

淡路島の洲本にある「星の果実園」(塩屋2丁目 1-45)と姉妹店「ジヤムの森テラス」(五色町鮎原南谷 523-2)はダルメイン世界マーマレードアワードにて2019年プロの部柑橘一種にて最優秀に選ばれた「初夏香るさわやか鳴門オレンジのコンフィチュール」(マーマレード)をはじめ淡島産の季節果実をジャムにして販売しています。



《自農園で栽培する苺も人気!!》

五色町に苺ハウスを持っていて毎年12月～5月は朝摘みした苺を毎朝ケーキにデコレーションして店頭に並べています。

苺は最近ではめずらしい土耕栽培で作っています。鮎原の良質な土壌、千山からの清水、五色町鮎原の盆地の朝夕の温暖差により甘くて大きい苺を育てることができます。

毎年島外から苺を求めて来られる方もおられるほど人気です。



《お誕生日ケーキ、クリスマスケーキのご予約も受け付けています》

両店にてイベントのお祝いケーキ、クリスマスケーキのご予約で承ります。12月～5月のケーキには自農園の苺を使用します。ぜひ店頭までご相談ください。

《ドッグカフェエリアでわんちゃんと一緒にティータイム》

「ジヤムの森テラス」では愛犬と一緒にカフェを楽しんでいただけます。

屋内ですので雨天の日でも快適にお過ごし頂けます。



『星の果実園』ケーキ、ジャム等の販売、カフェスペースも若干あり

営業時間：10時～19時(土日は17時クローズ) 駐車場：8台

洲本市塩屋2丁目 1-45 電話：0799-70-7300

『ジヤムの森テラス』ケーキ、ジャムの販売、カフェ&ランチ、ドッグカフェあり

営業時間：11時～17時 駐車場：20台

洲本市五色町鮎原南谷 523-2

電話：0799-32-1188

わたしたちのマチの元気企業 ⑫

《旬モンテ・ジョイ・フーズ》

弊社は平成7年1月、全国的に有名な阪神・淡路大震災が関西圏を襲い、町全体が壊滅状態に陥り、復旧もままならない状況で2年後、神戸は新長田にて第1号店を創業いたしました。当時の店周辺は、殺伐とし人通りも少ない状況でしたが、たくさんのお客様に支えられ、時には「マスターみたいな若い子らが、新長田を盛り上げてやー」と言った激励のお言葉をいただき、逆にお客様から“元気”をいただきました。



はやりや 新長田本店

そんな中、お客様とのやりとりで「地元の食材を使った何かオリジナルのものを造り、発信できたら面白いね」という何気ない会話から、『ご当地せんべいシリーズ』の企画がスタートしました。何度も試行錯誤しながら、平成29年6月に『いかなごのくぎ煮せんべい』、同年9月に『神戸牛せんべい』を商品化することができました。

お客様と考え、商品化できたご当地せんべいシリーズを世間の人に知っていただきたい、味を知っていただきたいという想いが詰まった商品です。

是非一度ご賞味ください。

ご当地せんべいシリーズ



『いかなごのくぎ煮せんべい』



『神戸牛せんべい』

〒653-0038 兵庫県神戸市長田区若松町 2-2-9

TEL: [079-451-8781](tel:079-451-8781) FAX: 079-451-8781

<http://hayariya.net>